令和２年度佐渡市地域おこし協力隊活動報告

■隊員名：服部　綾子（はっとり　あやこ）
■担当地区等：岩首集落
■活動開始月日：平成 30 年９月１日
■自己紹介：昔ながらの手仕事や暮らしが残る岩首集落を中心に活動しています。

■令和２年度の主な活動

１　棚田米と農産物を通じて地域の魅力を発信～『ばあとまご舎』の活動

地域の魅力発信や島内外の方々との交流促進を目的に令和元年に活動組織『ばあとまご舎』を立ち上げました。岩首集落、赤泊地区、羽茂木戸集落の女性たちに協力いただき、東京などにお住まいの方へ野菜や米の詰め合わせを２回送りました。箱には、女性たち１人１人の思いを込めた手書きのお便りを添えています。

さらに令和２年度は、購入者限定で「オンライン料理教室」を開催し交流しました。

購入者からは「おばあちゃんからの仕送りみたいで懐かしい感じがしました」「お米も野菜もおいしい！」など嬉しい声をたくさんいただきました。

都会に住む方に島の元気を届けることが、皆さんのやりがいにつながっていくといいなと思っています。

２　地域に残る技術の伝承～手仕事ワークショップの開催

岩首集落にはぞうり、わらじなどのわら細工の技術、昔から伝わる知恵が多数残っています。

こうした生活に根差し伝えられてきた技術は、生活様式の変化とともに必要性が薄れ、伝えられる人が少なくなっています。里山の豊かな知恵や技術の伝承が途絶えつつあることは、とても残念なことです。

そこで、集落の女性を講師にお願いし、島内在住の方限定で布ぞうり、もんぺ作りのワークショップを開催しました。布ぞうりのワークショップでは、私も助手としてお手伝いしました。

スイスイとぞうりを編み上げるおばあさんの姿を見て「おばあさんの手は魔法の手ですね」「私がおばあさんの後継者になります！」などなど嬉しい言葉をたくさんいただきました。

こうした取組を受けて、実際に自分たちで布ぞうりの作り方を習得して販売する人も出てきました。これからもっと活動が広がり、岩首の良さ、手仕事の大切さが伝っていくと良いなと思っています。私も岩首の皆さんが持つ知恵や技術を学び、伝えられるようになりたいと思っています。

３　オンラインで島外の消費者と交流～「オンライン魚さばき教室」の開催

新型コロナウイルスの感染が広がり、さまざまな活動が制限されている中で、今回は、都市圏にお住まいの方々と岩首をインターネットでつなぎ、オンライン魚さばき教室を開催しました。参加者に佐渡の海でとれた、ウマヅラハギなど３種類の魚介に、岩首棚田のお米も一緒に入れてお届けしました。

佐渡の里山と里海のつながりや、世界農業遺産（ジアス）などにも興味を持っていただきました。「情勢が落ち着いたら佐渡島に行きたい」「岩首の棚田に行きたい」「漁師さんに会いたい」といった感想も聞かれるなど大きな反響がありました。今後もこのように少しずつでも佐渡や岩首のファンを増やしていくことができればいいなと思っています。

令和２年度佐渡市地域おこし協力隊活動報告

■隊員名：竹林 雅喜（たけばやし　まさよし）
■担当地域：黒姫・虫崎・北小浦・見立集落
■活動開始：令和元年８月１日
■自己紹介：愛知県出身の竹林です。海に面していない場所に住んでいたので、今の環境は毎日が新鮮で楽しいです。趣味はお遍路で、そのご縁が佐渡にくるきっかけにもなっています。佐渡でも色々なご縁を繋いでいけたら良いなと思っています。よろしくお願いします。

■令和２年度の主な活動

・鬼の田植え

農業の担い手不足と、耕作放棄地が増える棚田で、「鬼の田植え」という地元の田んぼに関係する民話をモチーフとした田植えイベントを毎年行っています。地域の子供たちや島外、県外の人たちに佐渡の棚田地域の現状を知ってもらい、販路の拡大や新たな担い手の募集につなげていきたいです。

・古民家改築

空き家を民宿兼、地域の人たちの集まるコミュニティスペースにするための改築のお手伝いをしています。虫崎は、お店はもちろん自販機一つない集落なのですが、近年ダイバーや「100 人盆踊り」などのイベントによって多くの観光客が訪れようになってきました。長い間、人が住んでいなかったため、工事に大変時間がかかっていますが、完成した暁には、集落の重要な拠点になると思います。

・バーチャルツアー

コロナ禍での地域 PR の一環として、オンラインでの体験イベントを行いました。海と山に囲まれた地域で昔から行われてきた、農業、漁業等の生業を遠隔で体験してもらい、収穫した旬の食材をともに食べる事によって、離れていながらも佐渡を身近に感じてもらい、自分たちの活動支援やコロナ収束後に実際に訪れてもらうきっかけにしたいと考えています。

令和２年度佐渡市地域おこし協力隊活動報告

■隊員名：山田　達也（やまだ　たつや）
■担当地区等：鷲崎集落
■活動開始日：令和元年 10 月１日
■自己紹介：自然環境に魅力を感じ、新鮮な魚や美味しいお米と野菜が採れる鷲崎で地域の方々と触れ合いながら生活しています。
■令和２年度の主な活動

・地域の魅力を情報発信・ＰＲ活動

鷲崎地区の魅力を知ってもらうため昨年 12 月に寒ぶりと海の米のイベントを開催し PR 活動を行いました。
地域の自然風景や大謀網・海の米などの作業状況の動画や写真を収めたＣＤを作成し、多くの方々に鷲崎を認識して頂く活動をしています。
また、SNS を利用して地域行事、鷲崎の風景などの情報発信を心掛けてます。

・内海府小・中学校運営支援活動

小中学校の児童減少を止めるため島内他学校の取組などを調査し、離島留学や特認校応募の活動に従事しました。学校行事への参加や撮影などをして学校の魅力を情報発信しています。
また、離島留学ＨＰの作成や地域の受入体制などの準備活動を行いました。

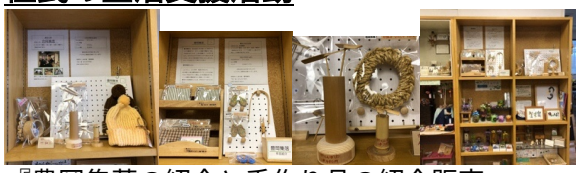
・地域行事支援活動

地域人口減少が進む中、鷲崎の村祭り・どんと焼き・盆舟流しなどの行事に取り組みました。
また、集落の美化委員会に所属し、各所の草刈や清掃・植物の育成などの活動を行いました。

令和２年度佐渡市地域おこし協力隊活動報告

■隊員名：千田　一城（せんだ　かずき）
■担当地区等：豊岡集落
■活動開始日：令和元年 11 月１日
■自己紹介：北海道出身。佐渡へは、山と海と農の自然が豊かに残る場所で、地域の伝統芸能と伝統工芸と農業を体験できるような場所作りをしていきたいと思い参りました。いずれは、耕作放棄地を活用しながら自然栽培で自給自足ができる生活を学べる学校作りや文化体験ができる場所作りをして、島外から集落への移住者が増えるような取り組みと共に、鬼太鼓の保存や田畑の維持管理をしていきたいと思っております。
■令和２年度の主な活動

住民の生活支援活動



『豊岡集落の紹介と手作り品の紹介販売』
集落の人の楽しみの増加と地域交流を視野に入れて佐和田のモビリティーワールドさんのレンタル BOX をお借りしました。集落紹介と集落の人の手作り品を募集して展示販売を行い、店内では集落出身者や島外の方からもお声をかけていただき関心を持っていただけました。集落を越えての心の交流や出店者さんとのコラボも楽しみです。

農林水産支援活動と環境保全活動支援

高齢化、人口減少に伴い、人手が限られている集落の負担軽減として、農道の草刈り、農道清掃、桜並木の草刈り、公園草刈り、ビオトープ草刈り、生き物調査、長藻採取、竹林整備等のほか、集落の年中行事の準備や参加をいたしました。決まったメンバーでの活動が多いです。

耕作放棄地の利活用

子供のいない限界集落において、島外からの移住者を増やして行くのは集落存続の一つのポイントだと思います。時代のニーズに合わせて島外からの有機農業体験希望者の受入れや伝統的な文化や生活体験のできる民泊や地域産業の創出を目指し、グリーンツーリズムの理念をベースに耕作放棄地の田んぼを自然栽培にて活用しました。今後は国産大豆の自然栽培やわらび園などにもチャレンジをして集落の特産品の選定をしていきたいです。

関係人口増加へ向けた取り組み

豊岡集落の昔の写真のアーカイブ活動と共に Instagram をスタートしました。島内外の人に豊岡集落を知ってもらえるきっかけ作りとして始めました。フォロー数も増えてきており、今後の活用次第で幅が広がります。
Instagram：toyooka.sado 今後は、『あるかんか佐渡しま歩き』さんや『佐渡ジオパーク』さんと連携しながら各集落を起点に佐渡全体で島を盛り上げていけたらと思います。

今後の豊岡集落の発展キーワード：グリーンツーリズム、関係人口、有機農業、ビオトープ、ジオパーク、スモール農業、山菜園、竹林整備、炭作り、公民館活性化、住民の手作り品販売、鬼太鼓体験、棚田協議会、前浜地区買い物＆移動サービス、漁業体験、インスタグラム、兵庫県豊岡市との姉妹都市（コウノトリとトキ）、etc...　　どんなことでもまずは**試して、そこから改善を繰り返していこうと思います。豊岡に興味が湧いた方、ぜひ遊びにいらしてください。人情に厚い集落です。**

令和２年度佐渡市地域おこし協力隊活動報告

■隊員名：本山　裕久（もとやま　ひろひさ）
■担当地区等：佐渡市全域
■活動開始日：令和２年１月１日
■自己紹介：さどの島銀河芸術祭 2018 に訪れ、アートと佐渡の自然風土のコラボレーションにとても魅了され、すぐに協力隊に応募しました。

■令和２年度の主な活動

・さどの島銀河芸術祭２０２０運営 補助

芸術祭会期であった 2020 年夏から秋にかけては、自車に工具やのぼり旗を積載して、各会場（市内６カ所）の間を走り廻って、作品制作の手伝いや会場整備などを行っていました。
行く先々で叱咤激励を受け、帰りの車中では、芸術祭を行うことによる佐渡への貢献、地域の皆様とのアートによる交流などなど、次に何をすればよいのか色々と思い悩んでおりました。

・SADOMMUNE(サドミューン)映像配信 補助

芸術祭を契機に、島内外のアーティストや研究者が改めて佐渡島の魅力を紹介する番組 SADOMMUNE がインターネット配信という形で生まれました。
写真は両津港でのロケにおいて撮影アシスタントを務めているところです。
番組ロケに参加することで、自分自身も佐渡について、とても勉強になりました。

・一般社団法人佐渡国際芸術推進機構 事務

芸術祭を運営する佐渡国際芸術推進機構の事務所兼作業場が両津湊の元かまぼこ工場にあります。
主に文化庁関連の助成金、補助金の申請書や事業報告書などを作成しています。
公的機関に提出する書類作り、“ 一式 ” を整えるのが結構大変だったりします。

令和２年度佐渡市地域おこし協力隊活動報告

■隊員名：長南 潤子（ちょうなん じゅんこ）
■担当地区等：松ヶ崎・岩首地区
「子どもの元気は地域の元気プロジェクト」
■活動開始日：令和２年４月１日
■自己紹介：愛知県名古屋市→東京→佐渡

10 年前にトキ関係者への取材で佐渡を訪れ、
佐渡の人々の人柄や生き方に感銘を受け、移住を決意しました。
子どもたちが元気に暮らせる地域づくりを目指します！

■令和２年度の主な活動

★松ヶ崎小中学校の「放課後活動」を始めました★

【課題】松ヶ崎小中学校は、学区が広く子ども同士の家が離れていて、放課後に集まって遊ぶことが困難。
【解決策】下記①～③の放課後活動を提案し、プロデュース。
「子どもの居場所づくり」や「多世代交流」そして「地域人材の再発見（“人こそ宝”）」を目指した。

①**「人生授業」**…地域の大人（親）が、なぜ今の職業を選んだか人生で得た教訓や挫折などを子どもたちの前で熱く語る。
★子どもたちは、身近な大人（親）のすごさを再発見できた。

②**「イベント版」**…学区内在住の〇〇名人を講師に、〇〇教室を開催。例)火起こし/焼き芋/木工/料理
★地元にも誇るべき名人たちがいることを、子どもも保護者も再発見できた。

③**「日常版 ″居残り組″」**…放課後、学校に残って宿題と遊び。地域の大人が見守り役。
★何をして遊ぶかは、子どもたちが毎回話し合いで好きに決めてよいルールにしたので、行事ごととは一味違う自由時間を友だちと楽しめた。

★「松ヶ崎留学」制度をサポートしました★

【課題】松ヶ崎小中学校は、生徒数の減少で廃校の危機にある。
【解決策】『松ヶ崎留学（親子で島留学）』制度整備をサポート。

①**「オンライン体験会」**…留学希望の親子に対し、オンラインで学校説明会を開催したり、松ヶ崎小中生との交流を手伝った。

② **留学希望者のケア全般**…留学希望者と日常的にやりとりをして関係維持に努めた。留学希望者への情報提供・質問への回答や、学校・地域との橋渡しをした。

★プロモーションビデオを制作しました★

松ヶ崎小中学校や「子どもの元気は地域の元気プロジェクト」のことを島内外に広く伝えるための PR 動画を制作。学校生活に密着撮影、編集して、YouTube チャンネルにアップ。

♥本格的に、手間暇と愛情をこめて作ったので是非一度ご覧になってみてください♥

↑こちらの QR コードをスマホカメラで読み取るか
「子どもの元気は地域の元気 YouTube」で検索願います！

令和２年度佐渡市地域おこし協力隊活動報告

■隊員名：逢坂　弥（おおさか　わたる）
■担当地区等：高千地区
■活動開始日：令和２年５月１日
■自己紹介：新潟市出身
佐渡には仕事や旅行で何度も来て自然豊かでここで暮らしたいと感じ協力隊へ応募しました。

■令和２年度の主な活動

・栃の実販売活動

北田野浦集落で採れる栃の実の販路開拓

今まで販売などはしていなかったが新規販路開拓を行い、佐和田のしまや様へ今後継続して納入させていただけることになりました。

・たかち美人拡販活動

高千産コシヒカリ　たかち美人の拡販活動

ふるさと納税運営サイトさとふる様へたかちもんて会として新規事業者登録。2020 年新米よりふるさと納税返礼品としてたかち美人を登録しました。

・たかちもんて会活動

たかちもんて会　四季の便り

年３回高千産の美味しいものをお届けするサービス四季の便りの発送・拡販を実施しました。

令和２年度佐渡市地域おこし協力隊活動報告

■隊員名：五百川　将（いおかわ　たすく）
■担当地区等：放課後等学習支援
■活動開始日：令和２年 12 月１日
■自己紹介：新潟県五泉市出身の 26 歳です。佐渡にやってくる前は、青年海外協力隊として「幸せの国」で知られるブータンで保健体育の先生をしていました。佐渡は、海や山と自然が豊かで、素敵な景色が多く過ごしていくうちに佐渡島の魅力にどんどんと心が惹かれています。今後も、佐渡を盛り上げられるように活動していきます。よろしくおねがいします。

■令和２年度の主な活動

・放課後子ども教室

佐渡市では島内の小学校で、放課後の時間を使用して体験・交流活動や学習活動を行っています。私は、スタッフとして各小学校へ行き、活動のサポートや支援体制つくりを行っています。活動は、地域ごとに特徴があります。地域の方々が講師になって子どもたちに昔遊びや習字などを教えてくれています。子どもたちにとっても、放課後の時間に様々な体験ができたり、地域の方と交流することができて貴重な時間になっています。令和３年度からは、９校で放課後子ども教室を開催していく予定です。

・図書館でのイベント開催

佐渡市立図書館と連携して、体験型謎解きイベントを開催しました。図書館の魅力や便利な使用方法を伝え、子どもたちや普段図書館を利用していない方々が図書館を有効活用してもらうことが狙いです。参加した子どもたちも図書館を巡りながら、謎解きを楽しんでいました。これからも図書館と連携して魅力発信を続けていきます。

・出前講座

小学校や中学校、高等学校へ行き、青年海外協力隊として活動していたときの話やブータンの生活について紹介しています。また、日本と海外の違いや、学生時代に海外ボランティアに参加したことについて話をしています。子どもたちに、少しでも世界のことを知ってもらえればいいなと思っています。

令和２年度佐渡市地域おこし協力隊活動報告

■隊員名：奥野　航（おくの　わたる）
■担当地区等：小木町地区
■活動開始日：令和３年２月１日
■自己紹介：千葉県千葉市出身
お気に入りの場所は素浜海岸です。こんなに長い砂浜が佐渡にあったなんてと驚きました。人が少ない今の時期はまるでプライベートビーチ！

■令和２年度の主な活動

・小木とそこに住む人を知る活動

着任して日が浅いので、小木を知る活動に取り組んでいます。町を歩いて、店の人と話をすると、良いところ、悪いところが色々見えてきます。今後、地域活性の取り組みを進めていく中で、“ 人の力 ” を最大限引き出せるよう、まずは関係づくりに励んでいます。その中で、「よう来てくれたっちゃ」や「小木のためにありがとう」と声をかけられることがやりがいになっています。

・歴史ある町並みの保存活動

私の活動は町並み保存を軸としています。ゆくゆくは小木の町を、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定してもらうということで、何よりも住民の理解が必要となります。そこで、町並みに関する広報誌の名称公募を行っています。チラシ、応募用紙・箱を手作りし、店に置いていただきました。これをきっかけに住民の皆様の町並み保存への参加意識が高まることを期待しています。

・特産品を使ったメニューの開発

佐渡を訪れる観光客は、夏が多く、冬が少ない。佐渡で獲れる魚は、夏が少なく、冬が多い。そんな現状があります。夏場に訪れた観光客にも満足してもらおうと、特産品を使ったメニューの開発を進めています。プロの料理人も参加しているため、私は消費者目線で開発に携わっています。自然に文化に歴史に食、全てが揃う小木はとっても魅力的な町であること間違いなしです。